

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(92号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一
●代表/阿部 一 ●副代表/菊池せい子

信仰: 真理を歩んでいる

- 街路樹の銀杏がどこまでも透き通る青色の空に黄色に映え、所々には銀杏も実をつけて、秋の深まりを一層感じる今日この頃です。お変わりございませんか。いつも祈り支えて頂いていますことを心から感謝いたします。
- 新約聖書のヨハネの手紙第三4に「私のこどもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。」と書かれています。自ら導いた群れの信徒たちが忠実な信仰の歩みをしているのを知ったヨハネが心からの喜びを一杯に表現しています。
- 主がパリサイ人や律法学者の陰謀とユダの裏切りで逮捕され、大祭司のところから総督官邸に連行され、ピラトに尋問されたとき、「わたしは真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に来たのです。」と答えられました。それに対して、イエスに罪がないことを知っていたながら、ピラトは「真理とは何か」と問い、遂にその「真理」を聞くことなしに、自らの保身のために「十字架につける！」と叫ぶ民衆にイエスを渡しました。それは真理を聞きたくない私たちの声でした。
- 「真理とは何か」という疑問は、人間の歴史で問われ続けてきた問題で、自分の人生に真摯に向き合い、しっかり生きたいという願う人たちの心の絶えざる疑問でした。
- ヨハネはその答えを第二の手紙で書送りました。「御父からわたしたちが受けた命令の通りに真理に歩んでいる人を知って、大変嬉しく思いました。」と、そしてその命令とは、新しい命令ではなくはじめから私たちが持っていたもの「わたしたちがあなたにたが初めか聞いていたように、互いに愛し合い、愛のうちは歩むことです。」(Ⅱ/4-6) と。
- 福音書と三通の手紙を通して、ヨハネは「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」(ヨハネ14/6)と主が言われたことを具体的に解き明かし、教えています。
- 真理に歩む＝神から受けた命令に従って歩む＝互いに愛のうちを歩む。それは、「尊いのは愛によって(自由に)働く信仰だけである」(ガラテヤ5/6)につながる、律法(命令)全体の一点「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい。」の実践に至り、私たちのそのような生き方を通して神の御名を崇める信仰を世に示すことができるようになります。
- 生まれながらの私たちには「自由の愛」はありません。私たちがその生き方を古き自分から新しい自分へのパラダイムシフトし、真理に従う生き方をしない限り、不可能です。その起点はまさしく主の十字架にあります。
- 「まさしく、真理はイエスにある」(エペソ4/21)と言われる主イエスに聞き、倣う者となることを求めるときに、真理の御霊がこの身に自由に働き、平安、喜び、感謝が溢れる人生へと変えられている自分が気づき、自分の人生を肯定できるようになります。それをこの月も真剣に求めたいと思います。みな様の上に神の愛の霊が注がれますように。

先月の多くの恵みから

- ① 10月号の月報でお願いしました「仮設限定灯油購入支援献金」へ献金が少しずつ集まり励まされます。最後の冬となると思われる5度目の寒い冬を仮設で過ごさざるを得ない被災者が少しでも温かく過ごせるようにご協力下さい。10/23現在263,000円/目標450,000円(58%達成)です。感謝します。
- ② 10/3に、坂戸市のブラジル人教会(時田勝治師の会員か



しかし、真理を行なう者は、光のほうに来る。(ヨハネ3/21)

- ら献げて頂いた仮設米支援献金で、仮設の被災者に新米を大人一人3kg・子供一人1kgの家族数に応じた支援ができました。
- ③ 9/21に、「イザヤ58ネット」が訪問の際に預かったティッシュペーパーと洗濯洗剤は、11月の生活消耗品支援に加えて支援することになりました。
- ④ 11/8の礼拝で、南三陸地区で「良きわざ・宣証」の理念で支援活動を続けておられ、3.11宮城三陸大震災追悼記念会の責任を持たれている聖協団仙台西教会の中澤竜生師にメッセージの奉仕をして頂くことが決まりました。感謝です。
- ⑤ 10/6に妻の大学時代の同級生伊藤吉男さん(秋田祈りの家)ご家族が訪問下さいました。平成5年に救われ、2年前に白血病が発症しましたが、今は治療しながら守られているとのことでした。今回は兄姉としてお交わりをいただく恵みに浴しました。
- ⑥ 10/19に震災以来、大阪の濱中 忠さんが毎年2回仮設入居者に、ご自分で採られて加工されたちりめん山椒などを仙台の鈴木真理姉を通して支援して下さいっており、今回もその佃煮を持って鈴木姉と共に訪問・支援下さいました。
- ⑧ 震災後、被災地に移住し薬剤師の仕事しながら奉仕をされている南 晶子さんがご自身で集めて下さったキルト地を「楽しい手芸(キルト他)」活動のために沢山献品頂きました。
- ⑨ 10月も多くの献品・献金に支えられ心から感謝します。

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 地域から求道者が起こされるように。群れの証しのために。
- ② 5度目の寒い冬を仮設で迎える被災者の冬の準備のために。灯油購入献金が満たされて支援できるように。
- ③ 石巻 Ministry Network(IMN)の各教会間の協力のために。

群の定期集会	
・礼拝 (毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会 (毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time (第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸(キルト他)(第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援 (地域の子どもの要望に応じて応援/木・土)	


信仰を詠う

もみじぶき
11月 紅葉月の幸

栗ごはん、茸のおつゆとぶどう漬け
傘寿の祝の宴の御膳

御茶碗に残るご飯粒掬えるを
嬉しと口中に転がし味わう。

2食分の弁当買ひて 戻る道
黄錆色の三日月 飛びこむ



阿部 八重子

天高く月冴える 紅葉月(9,10月)は、山ぶどう、栗、茸、通草(あけび)等山の幸を頂ける、また、木の葉の驚異的な変化を鑑賞できる、この幸いを創造主に感謝いたします。